

# 指定機関通信

## 競技会入賞者8人を表彰

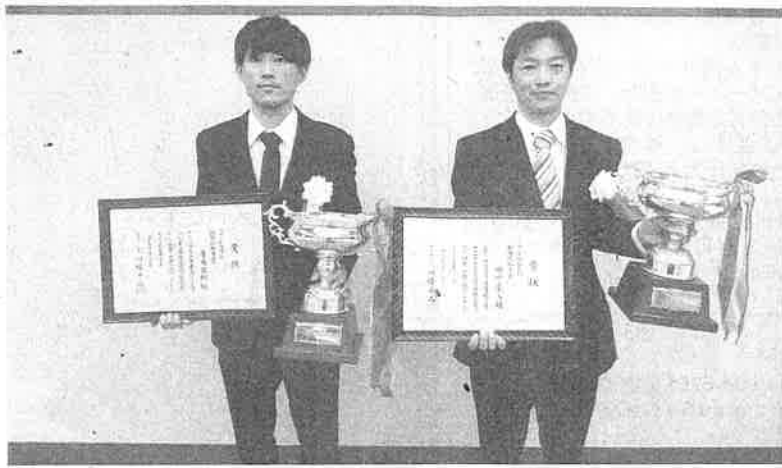
### 静岡県溶接協会が開く

静岡県溶接工業協同組合(西尾善次理事長)は5月19日、静岡市葵区の中島屋グラウンドホテルで「第29期通常総代会」を開催した。総会では2021年度事業報告および決算、22年度事業計画および収支予算案などを審議し、それぞれ原案通り可決承認した。また役員改選では西尾理事長の再任が承認されたほか、退任役員7人の表彰も併せて挙行された。

冒頭、挨拶した西尾理事長は、コロナ禍での組合運営について感謝の意を表した後、組合事業について言及。

「昨年は継続事業として実を結んだ実例が出た。その一つが工業高校生への支援で、二つの大会で県代表選手が優秀な成績を収められた。先生方の熱心な指導とともに、当組合としても指導者の派遣など溶接技能の習得に協力させていただいた成果だと自負している」と報告したのに続き「3月の静岡県技術競技大会では半自動溶接の部で初めて女性溶接士2人が参加し、そのうちの1人が見事4位に入賞された。その努力と指導者のバックアップに対し、心から敬意を表したい」と述べた。

さらに、2年越しの懸案事項であった評価試験のウェブ申請については、「ようやく具体化に向け動き出した。すでにカーベイヤースについては4月1日からスタートしており、評価試験については9月4日に実施される西部地区会場からスタートする」と報告した。



優勝した田中選手(右)と青木選手

引き続き22年度静岡県溶接技術競技大会の

表彰式が行われ、8人の入賞者(アーク溶接の部3人、炭酸ガス半自動溶接の部5人)に表彰状と記念品が贈られた。

アーク溶接の部静岡県知事賞の田中豪人(大穂工業)、炭酸ガス半自動溶接の部静岡県知事賞の青木宏剛(トヨタ自動車東富士研究所)の両選手は、9月に青森県で開催される全国溶接技術競技会に出場する。

田中選手は「大きな失敗はなかったが、久しぶりだった分、優勝は難しいかなと思っていたので大変うれしい。全国大会では1位を目指したい」と意欲を見せた。また青木選手は「X線試験が不安だったが、優勝できてよかった。前回、全国大会に出場した時は5位だったので、今回は一つでも順位を上げられるよう練習に励みたい」と意気込みを語った。なお両選手には特別賞として、産報出版から産報賞が授与された。

22年度静岡県溶接技術競技大会の入賞者は次のとおり(敬称略)

【アーク溶接の部】  
 ▼静岡県知事賞 田中豪人(大穂工業) ▼優秀賞(日本溶接協会中部地区溶接技術検定委員長賞) 石川真澄(日立ジョンソンコン) (日立ジョンソンコン) トロールズ空調清水事業所) ▼優良賞(静岡県溶接工業協同組合理事賞) 川上剛司(日立ジョンソンコン) トロールズ空調清水事業所、平出菜月(ケイイーコーポレーション)、比嘉作綺(トヨタ自動車東富士研究所)

【炭酸ガス半自動溶接の部】  
 ▼静岡県知事賞 青木宏剛(トヨタ自動車東富士研究所) ▼優秀賞(日本溶接協会中部地区溶接技術検定委員長賞) 山下将人(日立ジョンソンコン) トロールズ空調清水事業所) ▼優良賞(静岡県溶接工業協同組合理事賞) 川上剛司(日立ジョンソンコン) トロールズ空調清水事業所、平出菜月(ケイイーコーポレーション)、比嘉作綺(トヨタ自動車東富士研究所)